



きざはし

勝田第二中学校 学校だより 第6号
令和8年5月29日(金) 発行
文責：校長 川上徹行

勝田二中HP ↓

[https://hitachinaka.scho
olweb.ne.jp/0820010?tm
=20260324163759](https://hitachinaka.scho
olweb.ne.jp/0820010?tm
=20260324163759)

生徒の自治的活動(総会)、学習への取組(単元末テスト)

今年度の時間割が本格的に始まってから、早くもひと月以上が経過しました。教科によっては、すでにひとつの単元を終え、単元末テストに臨んでいます。テストは、これまでの授業や学習を通して身に付けた知識や理解を確認するためのものです。また他者と比較するためだけのものではなく、自分自身の学びの到達度を知るためのものです。(“相対的な見方”ではなく、“絶対的な見方”が大切です。)テストの結果を通して、自分の「普段の学びの流れ(予習→授業→復習)」がうまく機能しているかを振り返り、必要に応じて学習方法を見直すことができます。これがいわゆる「学びの自己調整」と呼ばれる力の育成につながっていきます。自分の力をより発揮するためには、学習方法の工夫が重要です。つまり、一人ひとりが理解しやすい学び方(=自分に合った学び方)に工夫していくことです。たとえば、「図や色分けを使う」「声に出して確認する」「書きながら整理する」「体を動かしながら覚える」など、自分に合った方法を理解し、取り入れていくことが効果的です。どの方法が自分に合っているかは、実際に「試行錯誤」してみることで見えてきます。ぜひ、ご家庭でもお子様と一緒に、こうした学び方について話し合ってみてください。テストを「結果」だけで終わらせず、「学び方を見直す機会」として活用していただくことをおすすめします。今後とも、「お子様の専門家」である保護者の皆様の温かいアドバイスとご支援を、引き続きよろしく願いいたします。



【2年生(下)と3年生(右)の授業風景】



総会が行われました。(5/28)…生徒たちの自治的な活動である、生徒会の総会が行われました。活動報告、決算や活動方針、予算の承認のほか、生徒たち自身で、このような活動をするとうまい、等の質問や要望が出され、ひとつひとつ吟味や検討をしていくことを確認しました。生徒たちは、各教科等で学んできたことを、こうした自分たちのコミュニティーの中での実践に生かし、理解を深めています。今後もこのような“社会の縮図



“の中で、一人一人の声を反映させる、枠組を変えていく、ための正当な方法を学んでいってほしい”です。

※今年度の**第2回学校運営協議会**(7/16 14:35~協議)が開催されます。**運営協議会での“熟議”の様子を見学してみませんか。**希望される方は、お問い合わせください。